

- 問1 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王」という称号が刻まれています。これと同様の称号が記された鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも出土していることから推測できる、5世紀後半の日本の政治状況として最も適切な説明を選んでください。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 各地域の豪族が独自の王号を名乗り、中国の王朝と直接外交を行っていた。

2. 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。

3. 邪馬台国の卑弥呼による統治が、近畿地方を中心に安定していた。

4. 東北地方から九州地方まで、完全に統一された律令国家が成立していた。
- 問2 千葉県最大級の前方後円墳である内裏塚古墳が築造された古墳時代の中期には、大陸との交流を通じて新しい製作技術が導入されました。この時期に生産が始まった「須恵器」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 弥生土器の流れを汲み、野焼きによって比較的低温で焼かれた赤褐色の土器

2. 青銅を原料として鑄造され、祭祀の道具として用いられた釣鐘型の道具

3. 表面に魔除けの意味を持つ縄目の文様をつけた、厚手で黒褐色の土器

4. 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器
- 問3 3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方だけでなく九州から東北南部までの広い範囲で、同じ「前方後円墳」という形式の古墳が作られた理由として、最も適切なものはどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 中国の皇帝から、日本全土を統一するためにこの形状で墓を作るよう命じられたため。

2. 稲作の普及により食料が豊富になったため、農作業の休憩所として全国で同じ形が採用されたため。

3. 仏教の教えに基づき、円形と方形を組み合わせることで死者の供養になると信じられたため。

4. ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。
- 問4 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。

2. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。

3. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。

4. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。
- 問5 古墳時代に、前方後円墳という特定の形式が日本各地の有力者の墓として採用されたことは、当時の政治状況においてどのようなことを意味していますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと

2. 大陸から伝来した仏教に基づき、全国一斉に寺院の建立が始まったこと

3. 狩猟・採集中心の生活から、稲作を中心とする社会へ移行し始めたこと

4. 各地の豪族が独自の宗教観に基づき、異なる形式の墓を競って造ったこと
- 問6 古代の日本と朝鮮半島の国々との関係について、百済が大和政権に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 唐と結んで、朝鮮半島を初めて統一するための軍事的な支援を日本に求めた

2. 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった

3. 日本に鉄資源を供給することを主な目的として、九州北部に軍事拠点を置いた

4. 大和政権に対して、魏志倭人伝に記されたような金印を授与して冊封関係を結んだ
- 問7 5世紀ごろ、現在の大阪府や奈良県を中心とした勢力であるヤマト王権が、九州から関東地方に至る広い範囲に影響力を及ぼしていたことが、各地の出土品から判明しています。埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト王権の首長を指すどのような称号が刻まれていましたか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 大王

2. 將軍

3. 天皇

4. 執權
- 問8 倭の五王の一人である「武」は、中国の南朝の皇帝に上表文（手紙）を送り、自らの祖先がいかにして国土を広げたかを伝えました。この「武」は、日本の歴史上のどの人物であると比定（推定）されていますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 卑弥呼

2. 聖徳太子（厩戸王）

3. ワカタケル大王（雄略天皇）

4. 中大兄皇子（天智天皇）
- 問9 大陸から漢字、儒教、仏教などが伝えられた時期の日本において、新たに生産が始まった須恵器の特徴とその背景について述べた説明として、正しいものはどれか。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. 弥生時代からの伝統的な製法を守り、稲作の普及とともに東日本を中心に広まった。

2. 中国からの使者が技術を伝え、平らな地面に薪を積み上げる「野焼き」によって低温で焼成された。

3. 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。

4. 国内の農民が独自に技術を開発し、「千歯こき」を用いて土を精製することで作られた。
- 問10 5世紀の日本各地における古墳の分布状況を見ると、近畿地方で誕生した特定の形式の古墳が、九州から東北地方までの広い範囲に築造されていることが分かります。この歴史的背景について説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 狩猟・採集の生活から、堅穴住居に住む定住生活へと変化した

2. 仏教の影響により、全国各地で国分寺が建立されるようになった

3. 墾田永年私財法の施行により、地方の有力者が荘園を形成した

4. 大和政権の支配や政治的なつながりが各地に広がった
- 問11 古墳時代の大和政権において、朝鮮半島や中国から渡来した人々（渡来人）が果たした役割や、彼らがもたらした文化的な影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 大和政権で外交や財政管理に従事し、仏教などの新しい文化や技術を伝えた

2. 銅鐸や銅剣などの青銅器を用いた祭祀を広め、巨大な前方後円墳を築いた

3. 稲作を初めて日本に伝え、各地に高床倉庫を持つ集落を形成させた

4. 狩猟や採集に代わる新しい生活様式として、磨製石器の製作技術を広めた
- 問12 5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った

2. 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した

3. 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている

4. 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている
- 問13 古墳時代を代表する、前部が方形（四角形）、後部が円形の形状をした巨大な墳墓の名称として正しいものを選択してください。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 前方後円墳

2. 方墳

3. 円墳

4. 装飾古墳